

【夏休み】

8月といえば夏休み。お泊まり会やサマーキャンプなど、宿泊行事を行う機会が多いのではないのでしょうか。

いつもは昼間に遊ぶお友達と一緒に過ごす夜、家族と離れて過ごす夜は子どもにとって特別なものです。

乾燥した冬の星空とは違い夏は湿気が多いので星が見にくいという面もありますが、夏の星座は探しやすい屋外で星座観察をしても寒くないため、星座観察に向いている季節とも言えます。

サマーキャンプの夜のプログラムはキャンプファイヤーが人気ですが、ここでは”雨天でも室内でできる””少人数でも楽しめる”「オリジナル星座づくり」を紹介します。



あそんでみよう！

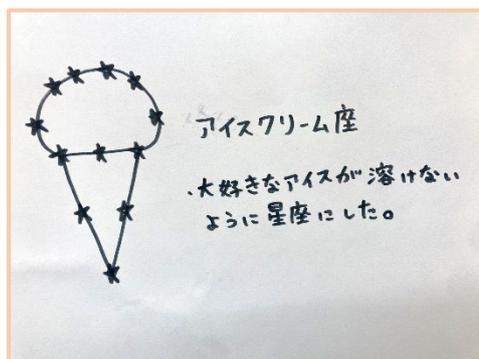
【準備】

- ・光源になるもの(100円均一ショップで売っている電池式ライト等)10~15個程度
- ・A4コピー用紙とサインペン(個人またはグループに1つずつ)
- ・(必要に応じて)星座早見盤など

【進め方・ルール】

- (1) はじめに代表的な夏の星座の話や、星座にまつわる神話の話などをします。実際に屋外で星空を眺めながら話ができると最高ですね。
- (2) 子どもたちが星座に興味を持ったところで、個人またはグループごとにオリジナルの星座をつくってもらう。
※全ての光源を使わなくても構いません。
- (3) オリジナルの星座の「名前」「星の配置」「その星座にまつわるエピソード」を考えて、A4コピー用紙にその星座のイラストを描く。
- (4) 発表する時は、光源をオリジナル星座の配置に変えてから、聞く人たちと星座を挟んで向かい合わせになるように立ち、オリジナル星座を紹介する。

※室内で天井に光を映したい場合は、強い光源と、内側にアルミホイルを貼って底に小さな穴を開けた紙コップを用意する。光源に紙コップを被せることで、アルミホイルに反射して増幅した光が穴から天井に星のような光が映る。



オリジナル星座



紙コップの内側にアルミホイルを貼る



光源に紙コップを被せた様子